

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】①

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	和泉短期大学
設置者名	学校法人 和泉短期大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	児童福祉学科	夜・通信			55	55	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						

(備考) 本学は単科の短期大学のため、全学共通、学部等共通、専門の科目の単位数が同一になります。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 WEB サイト上 https://www.izumi-c.ac.jp/introduction/outline/syllabus/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	和泉短期大学
設置者名	学校法人 和泉短期大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】②

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	和泉短期大学
設置者名	学校法人和泉短期大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

和泉短期大学ホームページ https://www.izumi-c.ac.jp/introduction/corporate/houjin/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人理事長	2020.6.13 ～ 2024.6.12	人事
非常勤	私立大学名誉教授	2020.6.13 ～ 2024.6.12	学校法人の適切な 運営、健全な法人の 構築
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 ③

学校名	和泉短期大学
設置者名	学校法人 和泉短期大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス(授業計画)の作成過程 教務委員会にて「シラバス作成要綱」を編纂。3つのポリシーの内、DP(ディプロマポリシー)、CP(カリキュラムポリシー)に沿って、授業コンセプトを作成する方向付けを行っている。この要綱を全教員(非常勤含む)に配布し、周知を図っている。なお、2019年度より、①シラバス内に「実務経験とその年数」を記述する欄を設けた。②授業内容13回(2021年度より105分13回に変更)の各回に事前事後学習内容の具体的提示を促す形式に変更し、その目的や記入方法の詳細を記す、などシラバスの改善を図った。 さらに、教員より提出されたすべてのシラバスを、「シラバス作成要綱」に沿っているか教務委員全員で点検し、学長に提出し、必要が生じた場合は担当者に訂正を依頼している。 ・シラバスの作成・公表時期 前年度12月下旬に教授会においてシラバス作成要綱をもって全教員(非常勤含む)に作成依頼。1月末までに提出し、2月～3月に点検・修正。3月末にWEB上に掲載、公表している。 	
授業計画書の公表方法	https://www.izumi-c.ac.jp/introduction/outline/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の評価方法についてはシラバスに明示している。</p> <p>また、単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施については、各学生の学修成果に基づき、あらかじめ学生に配付している冊子『学びのハンドブック』の「単位認定」の項目に、①単位認定の条件、②評価方法、③成績評価、等々について記載しており、その成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>・評価方法</p> <p>評価の方法には次の種類がある。</p> <p>(1) 筆記試験、(2) レポート試験、(3) 実技試験、(4) その他</p> <p>※試験に関する不正行為を行った者は、試験当該科目を失格とする。</p> <p>・成績評価</p> <p>履修を登録し、試験に合格すれば単位が与えられる。成績の評価は以下のとおり。</p> <p>S A (90～100 点) 目標の成果が高く認められる、特に優秀な成績</p> <p>A (80～89 点) 目標の成果が認められる、優秀な成績</p> <p>B (70～79 点) 目標の成果が一応認められる成績</p> <p>C (60～69 点) 合格と認められる最低の成績</p> <p>D (59 点以下) 合格とは認められない成績</p> <p>E (失 格) 出席日数の不足</p>													
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>													
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・G P A等の客観的な指標の具体的な内容(指標の算出方法など)</p> <p>1) GPAの算出方法</p> <p>成績の評価及び各評価に与えられる GPA は、以下のとおり定めています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評価</th> <th>SA</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>DとE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GPA</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>		成績評価	SA	A	B	C	DとE	GPA	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0
成績評価	SA	A	B	C	DとE								
GPA	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0								
<p>2) GPAの種類</p> <p>GPAには、当該学期における GPA (以下「学期 GPA」という。)と全在学期間における GPA (以下「通算 GPA」という。)の二つがある。</p> <p>※GPAの算出は、小数点第3位以下を切り捨てるものとする。</p> <p>【学期 GPA を算出する計算式】</p> <p>(当該学期に評価を受けた各授業科目で得た GP ×当該授業科目の単位数)の合計 <div style="text-align: center;">÷ 当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計 = 学期 GPA</div> </p> <p>【通算 GPA を算出する計算式】</p> <p>((各学期に評価を受けた各授業科目で得た GP ×当該授業科目の単位数)の合計)の総和 <div style="text-align: center;">÷ (各学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計)の総和 = 通算 GPA</div> </p>													
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>新年度初めのオリエンテーション時に学生に配付の冊子『学びのハンドブック』に記載。</p> <p>https://www.izumi-.ac.jp/guardian/lesson/?id=guardian02</p>												
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>													

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) …以下を定め公表している。</p> <p>本学の建学の精神 (キリスト教信仰に基づく教育と人格形成)、スクールモットー (愛と奉仕) に基づくカリキュラムを履修して、卒業に必要な所定以上の単位を修得し、下記の要件を満たす学生に対し、短期大学士 (児童福祉学) の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、基礎学力、幅広い教養、礼節を身につけ、多世代にわたる人々の人権を尊重できる。 2. 保育・福祉に関する専門的な学修を通じて、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 3. 保育・福祉の専門的な価値観、知識・技能を修得し、自ら考える力、自ら行動する力、コミュニケーション能力を身につけている。 4. 保育・福祉の専門職として多角的な視点を持ち、共生社会実現に向けて主体的かつ自律的に学び続け、愛と奉仕の精神を実践できる。 <p>・卒業に必要な単位 (2022 年度入学生)</p> <p>本学に 2 ヶ年以上在学し、次の単位を修得した者に、卒業を認定します。</p> <table border="0"> <tr> <td>教養教育科目</td> <td>12 単位以上</td> <td>[卒業必修 10 単位含む]</td> </tr> <tr> <td>専門教育科目</td> <td>52 単位以上</td> <td>[卒業必修 6 単位含む]</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>64 単位以上</td> <td></td> </tr> </table>		教養教育科目	12 単位以上	[卒業必修 10 単位含む]	専門教育科目	52 単位以上	[卒業必修 6 単位含む]	合 計	64 単位以上	
教養教育科目	12 単位以上	[卒業必修 10 単位含む]								
専門教育科目	52 単位以上	[卒業必修 6 単位含む]								
合 計	64 単位以上									
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.izumi-c.ac.jp/guardian/lesson/?id=guardian03									

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】
④

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	和泉短期大学
設置者名	学校法人和泉短期大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/zaimukeisan_2020.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/zaimukeisan_2020.pdf
財産目録	https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/zaisan2020.pdf
事業報告書	https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/biz_report_2020.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/gaibukansa_2020.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:事業計画書)	対象年度:2021年度)
公表方法: https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/biz_plan_2021.pdf	
中長期計画(名称:学校法人和泉短期大学 第2次中期計画 対象年度:2020年度~2024年度)	
公表方法: https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/biz_plan_2020-2024.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/houkokusyo_2019.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法： https://www.izumi-c.ac.jp/wp-content/themes/izumi/assets/images/introduction/finance/thirdparty2014.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 児童福祉学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.izumi-c.ac.jp/introduction/outline/spirit/)
(概要) ・ 建学の精神 キリスト教信仰に基づく教育と人格形成 ・ 教育の理念 スクールモットー「愛と奉仕」
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.izumi-c.ac.jp/guardian/lesson/?id=guardian03)
(概要) 本学の建学の精神 (キリスト教信仰に基づく教育と人格形成)、スクールモットー (愛と奉仕) に基づくカリキュラムを履修して、卒業に必要な所定以上の単位を修得し、下記の要件を満たす学生に対し、短期大学士 (児童福祉学) の学位を授与する。 1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、基礎学力、幅広い教養、礼節を身につけ、多世代にわたる人々の人権を尊重できる。 2. 保育・福祉に関する専門的な学修を通じて、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 3. 保育・福祉の専門的な価値観、知識・技能を修得し、自ら考える力、自ら行動する力、コミュニケーション能力を身につけている。 4. 保育・福祉の専門職として多角的な視点を持ち、共生社会実現に向けて主体的かつ自律的に学び続け、愛と奉仕の精神を実践できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針
(公表方法： https://www.izumi-c.ac.jp/guardian/lesson/?id=guardian03) (概要) 本学は、Ⅰ教養、Ⅱ原理、Ⅲ知識・技能、Ⅳ実践の 4 科目群を配置している。 Ⅰ教養は、キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目 Ⅱ原理は、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目 Ⅲ知識・技能は、子どもと子どもを取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目 Ⅳ実践は、身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積む中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目
入学者の受入れに関する方針
(公表方法： https://www.izumi-c.ac.jp/admission/info/admission-policy/)

(概要)

【和泉短期大学が求める学生像】

和泉短期大学は、保育・福祉専門職として必要な価値観、知識・技能を修得し、建学の精神にもとづく愛と奉仕をもって、すべての人々が共に生きる社会の実現に貢献したいと考える人を求めている。

【入学希望者に期待される学習経験：児童福祉学科】

1. 高校内での保育・福祉に関する学び・経験（総合的な学習の時間、家庭科や社会科等における保育・福祉に関連する学び）の機会を得ること。
2. 保育・福祉現場等でのボランティアを積極的に経験すること。
3. 自己表現とコミュニケーションのスキル（聴く、話す、書く等）を修得すること。

【入学希望者に期待される学習経験：専攻科介護福祉専攻】

1. 社会福祉に関する科目の学びに力を入れて取り組むこと。
2. 高齢者施設、障がい児・者施設等でのボランティアを積極的に経験すること。
3. 対人援助に関する科目での、自己表現とコミュニケーションのスキル（傾聴、共感等）に関する学びに力を入れて取り組むこと。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.izumi-c.ac.jp/introduction/outline/office/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					人
—	—	8人	7人	1人	2人	1人	19人
—	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		26人					26人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://www.izumi-c.ac.jp/introduction/outline/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
児童福祉学科	250人	221人	88%	500人	411人	82%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	250人	221人	88%	500人	411人	82%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
児童福祉学科	193人 (100%)	22人 (11.4%)	158人 (81.9%)	13人 (6.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	193人 (100%)	22人 (11.4%)	158人 (81.9%)	13人 (6.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
保育所、幼稚園、認定こども園、保育所以外の児童福祉施設、障がい者支援施設他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
児童福祉学科	212人 (100%)	191人 (90.1%)	3人 (1.4%)	13人 (6.1%)	5人 (2.4%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	212人 (100%)	191人 (90.1%)	3人 (1.4%)	13人 (6.1%)	5人 (2.4%)
(備考) その他は、学費未納による「除籍者」5名					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス（授業計画）の作成過程 教務委員会にて「シラバス作成要綱」を編纂。3つのポリシーの内、DP（ディプロマポリシー）、CP（カリキュラムポリシー）にそって、授業コンセプトを作成する方向付けを行っている。この要綱を全教員（非常勤含む）に配布し、周知を図っている。 また、教員より提出されたすべてのシラバスを、「シラバス作成要綱」にそっているか教務委員全員で点検し、必要が生じた場合は担当者に訂正を依頼している。 ・シラバスの作成・公表時期 前年度12月下旬にシラバス作成要綱を全教員（非常勤含む）に配布し作成を依頼。1月末までに提出し、2月～3月に点検・修正。3月末にWEB上に掲載、公表している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法 評価の方法には次の種類がある。 (1) 筆記試験、(2) レポート試験、(3) 実技試験、(4) その他 ※試験に関する不正行為を行った者は、試験当該科目を失格とする。 ・成績評価 履修を登録し、試験に合格すれば単位が与えられる。成績の評価は以下のとおり。 S A (90～100点) 目標の成果が高く認められる、特に優秀な成績 A (80～89点) 目標の成果が認められる、優秀な成績 B (70～79点) 目標の成果が一応認められる成績 C (60～69点) 合格と認められる最低の成績 D (59点以下) 合格とは認められない成績 E (失格) 出席日数の不足 ・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）…以下を定め公表している。 本学の建学の精神（キリスト教信仰に基づく教育と人格形成）、スクールモットー（愛と奉仕）に基づくカリキュラムを履修して、卒業に必要な所定以上の単位を修得し、下記の要件を満たす学生に対し、短期大学士（児童福祉学）の学位を授与する。

1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、基礎学力、幅広い教養、礼節を身につけ、多世代にわたる人々の人権を尊重できる。
2. 保育・福祉に関する専門的な学修を通じて、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。
3. 保育・福祉の専門的な価値観、知識・技能を修得し、自ら考える力、自ら行動する力、コミュニケーション能力を身につけている。
4. 保育・福祉の専門職として多角的な視点を持ち、共生社会実現に向けて主体的かつ自律的に学び続け、愛と奉仕の精神を実践できる。

・卒業に必要な単位（2022年度入学生）

本学に2ヶ年以上在学し、次の単位を修得した者に、卒業を認定します。

教養教育科目 12 単位以上 [卒業必修 10 単位含む]

専門教育科目 52 単位以上 [卒業必修 6 単位含む]

合 計 64 単位以上

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	児童福祉学科	64 単位	有	21 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：学生に配付の『学びのハンドブック』に記載		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.izumi-c.ac.jp/campuslife/facility/>

「学校法人和泉短期大学 GUIDE BOOK 2022」(学校案内、希望者に郵送)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
	児童福祉 学科	730,000円	290,000円	338,000円	その他内訳 維持費 220,000円 実験実習料 100,000円 預り金(父母会費 12,000円、 学友会費 6,000円)
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 保育者養成では、学外実習と学内授業の往還した学びが重要です。本学では、保育所・施設・幼稚園での合計4回の実習の担当教員とグループアドバイザーが連携・連動し、実習と授業を軸とし、2年間の学生の成長を、入学から就職まできめ細やかに支援しています。 また、自学自習のサポートのために、ラーニングセンターwillにはIT支援者(PC利用の指導)、基礎学力支援者(公務員試験対策を含む学力の支援)、キャリアデザインセンターには保育力支援者(保育実務に関する指導)を配置しています。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要)卒業必修科目である「キャリアデザインⅡ」(就職支援講座)を2年次に開講し、マナー講座、作文対策講座、面接対策講座等を実施しています。また、卒業生を招いての就職懇談会や、保育所・幼稚園等協会の先生方をお招きして就職懇談会を実施し進路選択のための情報を提供しています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要)健康管理センター(保健室および学生相談室)を設置し、心身の健康や家族・友人についての悩みや、学生生活での不安等についてカウンセラーが対応しています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.izumi-c.ac.jp/introduction/outline/gakkoukyouikuhou172/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
年		単位時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
人	人	人	人	人	人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
成績評価の基準・方法 （概要）
卒業・進級の認定基準 （概要）
学修支援等 （概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
